

報道関係者 各位

放送批評懇談会

**発表！2019年4月度ギャラクシー賞月間賞**

放送批評懇談会が日本の放送文化の質的な向上を願い、テレビ、ラジオの番組、関係者を顕彰する「ギャラクシー賞」。ことしで57年の歴史を誇ります。

ギャラクシー賞テレビ部門では、批評活動の一環として、毎月、自主的に番組を推奨する制度「月間賞」を運営しております。今月の月間賞を別紙のとおり発表いたしますので、貴媒体でお取り扱いのほどお願い申し上げます。

ギャラクシー賞テレビ部門は、この日常視聴に基づく「月間賞」と、各社からの応募作品を併せて審査を重ね、毎年を受賞作を決定いたします。6月初旬開催予定の贈賞式にて、大賞をはじめとする各賞が決定、表彰されます。

今後の選考にもご注目いただければ幸いです。

●放送批評懇談会について：1963年の発足以来、評論家、ジャーナリスト、マスコミ研究者などを会員に、各種の活動を展開しております。「GALAC（ぎやらく）」の編集・発行、優れた番組・CMを顕彰する「ギャラクシー賞」の選考・運営、メディア界の動きを解説するセミナー、シンポジウムの開催などを行なっています。

●過去の受賞作をお探しの場合は「ギャラクシー賞データベース (<http://www.houkon.jp/galaxy/database.html>)」をご活用ください（掲載内容：作品名、放送局・制作社名、制作者、出演者、受賞理由など）。

放送批評懇談会

ASSOCIATION OF BROADCAST CRITICS

◆お問い合わせ先

放送批評懇談会／担当：福島・齋藤

〒160-0022 新宿区新宿 5-10-14 中村ビル 2F

Tel：03-5379-5521 Fax：03-5379-5510

kondankai@houkon.jp <http://www.houkon.jp>

放送批評懇談会



2019年4月度ギャラクシー賞月間賞

NNNドキュメント' 19「一四一冊の春 くめさんが伝え続けること」

4月7日放送 25:00~25:30 南海放送

愛媛県の山あいでも暮らす72歳の主人公を中心に、彼女のつぶやきを大切にしながら、自然の風景や音を心優しく紡いだ秀作。生まれつき背骨に障害があることと上手につきあいながら、35年続けている季刊誌「秘めたるま」を出版する姿勢が凜として美しい。ご本人のナレーションに加え、余貴美子の語りも真実味があって力がある。

ドラマ 25「日本ボロ宿紀行」

1月25日~4月12日放送 24:52~25:22 テレビ東京 共同テレビジョン 「日本ボロ宿紀行」委員会

ボロ宿と昭和歌謡という“廃れたもの”の魅力がリンクしていく作劇が秀逸。売れない歌手とマネージャーで言い合いをしながら旅をするという設定は、少しでもさじ加減を間違えると、見る者に不快感を与えてしまうことが多いが、深川麻衣、高橋和也の2人がとても愛らしく演じており、いつまでも見ていたいと思わせるドラマだった。

ETV特集「連合赤軍 終わりなき旅」

4月20日放送 23:00~24:00 日本放送協会

理想の社会を求めていたと言いながら、「総括」という名のもとに殺人行為をした連合赤軍の元メンバーたち。彼らが当時何を考えていたのか、そして今どう受け止めているのか。すべてをさらけ出して話した内容がどれも興味深かった。事件そのものの記憶が薄れていくなか、取材班が元メンバーに粘り強く交渉したからこそ実現した番組だ。

いまだにファンです！

4月6日~(毎週土曜)放送 25:30~26:00 テレビ朝日

芸能人を長年にわたってひたむきに応援し続けるファンが主役の番組。これまでのこの手の番組ではそういったファンを「変人」扱いすることが多いがこの番組ではそういったことをせずにファンの思いを丁寧に聞き出し、支え合いながら背負い合っているタレントとファンとの関係性を浮き彫りにしている。